

## 研究成果を人々の暮らしへ

火山防災研究部 アウトリーチ活動の紹介



火山防災研究部 研究員 小園誠史

### はじめに

所内一般公開をはじめ、外国人研修員の受け入れや火山ハザードマップの作成協力など、火山防災研究部では様々なアウトリーチ活動を実施しています。

これらの活動を通して人々の火山に対する関心を高め、防災意識の向上に役立つことを目指しています。

### 所内一般公開

火山が噴火する現象について理解を深めていただくというねらいから、メントスとコーラを使った噴火の模擬実験を行いました。メントスをコーラに入れると、火山噴火の重要な駆動力である「発泡現象」を引き起こすことができます。この実験によって、ダイナミックな噴火現象が生じるしくみを体感して理解してもらうことをめざしました。

数人が一列に並び、固定したコーラのペットボトルの内側に、穴を開けて短い紐を通した磁石とメントスをセットします。長い紐でしばっておいた別の磁石で、ボトルの外側から内側の磁石を留め、中央に穴を開けたペットボトルのふたを閉めます。「せーの」の掛け声に合わせていっせいに外側の磁石の紐を引くと、ペットボトルの中にメントスが落ち、コーラがまるで噴水のように高く噴き出しました。

実験に参加してくれた子供達はもちろん、見

学していた周囲の方々からも大きな歓声があがりました。



写真1 メントスとコーラを使った噴火模擬実験

### その他

冊子やパンフレット、下敷きなど、各種広報印刷物を作成しています。これらの印刷物は、自治体を通し火山周辺地域にお住まいの方々にも配布され、好評をいただいております。

またテレビや新聞、雑誌など、各種メディアからの取材にも積極的に協力しています。



写真2 本研究部作成の各種広報印刷物